

神山神社だより

令和5年4月

36号

はじめに

令和五年四月となり新年度が始まりました。氏子の皆様には心新たに過ごされている事かと思えます。昨年度はコロナ感染症により生活そのものが疲弊している中、祭地区の皆様のご協力により縮小では在りましたが無事、夏の例大祭を行い終えることが出来ました。当初、多くの方から賛同を得て行いましたがそれと同じぐらいに批判もされました。始めるまでは心配で仕方有りませんでした。が、実際行ったところ多くの方に参拝していただき境内は大いに賑わいました。十分な対策を高じて執り行った事により感染者が出たと言ふこともなく関係者の方には大変、ありがたく感謝申し上げる次第です。

行います。この直会も祭りには欠かせない行事の一つです。地域、役職を越えて語り合う事は大事な事ですのでご理解いただきしたいと思います。

今迄、行っていた事、行いたかった事、したくても出来ない環境でした。平常時を過ごす大切さを身にしみて考えさせられる三年間となりました。今期も神社の護持運営にご理解の程、宜しくお願ひします。

氏子総代長退任と新任挨拶



退任
氏子総代長
古田裕茂

退任にあたって
日頃は金幣社神山神社の護持運営につきまして格別なご理解とご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

この度、令和四年度を持ちまして氏子総代長を退任することと致しました。会計を五年、氏子総代長

を七年 合計十二年間と長きにわたり大過なくご奉仕させて頂きました。本当にありがとうございます。しかしこの三年間、新型コロナウイルス感染症の蔓延により神社本来の活動役割が果たせず、特に例大祭を始めすべての祭りについては神事のみと、中止や制限された中での執行でした。

そんな中でも、長年の懸案事項であった社務所の改築について、平成二十九年に建設委員会を立上げ、町内会の皆様方の協力金と氏子崇敬者の皆様方からの寄付金により一年前倒し、令和四年四月新しく完成を見ることが出来ました。これは、関係各位のお蔭があつたことと感謝に堪えません。又、その他老朽化した神社施設棟等の整備や、長年手が付けてなかった東山、境内の神社林の間伐整備を行ったこと等ハード面での取り組み、又少子高齢化による社会構造の変化により祭りを執り行うに厳しい現状を鑑み、将来における祭りの取り組み方についても議論を始めさせて頂きました。このコロナ禍の三年間、神社を取り巻く環境、祭りのあり方についてもいろいろ課題問題点も見えてきております。

本来、神山神社は全ての氏子の皆様の大事な財産であります。又、

心の故郷でもあり拠り所でもあります。毎年執り行われる祭りを通じて、ここで暮らしているみんなの交流と絆を確認する場所でもあります。

何百年と先代が守ってきたこの神社を、どうかこれからも地域の安寧の鎮守の森として子々孫々まで末永く栄えあることを願っております。

最後になりましたが、いよいよ新年度 新しい役員さんによる力強いスタートが始まります。今後とも皆様方のご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます、お礼の挨拶とさせていただきます。



新任
氏子総代長
西尾晃司

氏子の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

平素は、神山神社繁栄のために、様々の角度から格別なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。令和五年四月より古田裕茂前総代長の後を受け、就任いたしました西尾晃司です。歴代総代長が築かれました功績を考えますと、

その責務の重さに身の引き締まる
思いです。微力ではありますが、
尽力致しますので前任者同様よろ
しくお願い致します。

古田前総代長におかれましては、
社務所の改築、授与所の新設、神
社林の間伐等々、七年間の長きに
亘り多くの事業を手掛け、神社の
護持運営にご尽力いただきました
事に深謝致します。

さて、夏祭りはコロナ感染症の影
響により二年間中止、昨年は規模
を縮小し行うことができませんでした。
本年は感染拡大がない限り、「本来
の祭りに全て戻して斎行する」と
いう方針が、第一回例祭取組会議
(二月十八日)で確認されておりま
すが、社会環境の変化やコロナ禍
の祭りの在り方を検討しながら前
へ進めて行きたいと思えます。

祭りは、地域のつながりを深める
行事であり、子供たちの地域の思
い出として刻まれること、老若男
女の世代間交流ができること等々
祭りの意義は大変大きく神社を盛
り立て、地域の活性化を図って
いく重要なイベントと認識して
おります。

最後になりましたが、神社の祭祀、
伝統継承、財産管理など神社行
事・運営に、より一層のご支援・
ご協力をお願いすると共に、各界
神社関係者の皆様のご指導・ご鞭

撻のほどよろしくお願いし挨拶
とさせていただきます。

■ 社務所建設委員会

平成二十九年に建設委員会を立
ち上げ計画より一年前倒して令和
三年十月十四日に着工、令和四年
四月二十六日完成と順調に出来上
がりました。計画では令和五年三
月を以て建設委員会を解散いたし
ます。改めて氏子の皆様、奉賛寄
附者の皆様には心より感謝申し上
げます。

只今、解散式を計画しております。
それにあわせ社務所を開放し、何
かイベントが出来れば良いなど考
えておりますので宜しくお願い致
します。

現在、神事、会議、直会会場、巫
女舞練習、神職研修等で利用して
おりますがそれ以外で社務所を利
用したいという方が在りましたら
ご一報ください。

社務所の設備、テーブル二十席、
百人前後までの可能 会議・展示
会・習い事などにご利用ください

■ 天神神社祭典

本年二月二十四日天神祭を執り
行いましたが以前のようなお祭りが
出来なくなっていました。
コロナ感染症前には小学校児童に
放課後、神社に集まってもらい参
拝したのち、社務所で毛筆の書を
書いて奉納をして頂いておりまし
たが、そのかわり自宅で書いたも
のを奉納して戴く形式にしました。
参加する人数は以前、八十名規模
でした。しかし徐々に減って行き、
今年は二十三名となってしまいました。
今年で書いてくる事の影響
と思われまます。

今年度は小学校の統合により曙に
移ってしまうのでコロナが収束し
ても以前の様に神社に来ることが
叶わなくなってしまうと思います。昔か
ら行われてきた小学校と神社の関
わりが無くなってしまいうすです。
次回の天神神社祭典ですが、先人
が残してくれた祭りをどの様に残
すべきかを神社関係者並びに小学
校関係者に相談してことを進めて
行きますので御協力の程、宜しく
お願い申し上げます。

天神神社は明治四十年「芭蕉天神
創立五百年臨時祭典」が執り行わ
れていきます。定かでは在りませ
んが西暦千四百年頃創立されたと思
われます

■ 神社林の間伐

榊山の桧を令和二年二月より間
伐しまして、三月中旬に切り出し
終えました。木が込み入っている
為、風通しが悪く、木の育成に良
くないと謂われ、また、昨年社務
所の建設費用に神社の蓄えを使っ
た関係上、木を間伐し材を売って
将来の蓄えとします。また、収益
として幾らになるのか不明ですが、
今期の収益事業として計上します
のでご報告申し上げます。

■ 夏祭り(例大祭) 当番

祭元・・・植苗木
富籤・・・長根
余興・・・川西
注連縄・・・元中組
行燈・・・元野尻
宜しくお願い致します。

安産祈願、初宮詣、厄除け、
車のお祓いなどの正式参拝の
予約を承ります

お問合せ先

宮司 深谷 耕平

宅 0573-72-2892